

公益財団法人サカタ財団

第2期事業報告

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

1. 概略

(1) 当財団の2021年3月31日時点の貸借対照表は、以下の通りとなりました。

資産の部は、「現預金」の残高が、期首2,904千円より、2,662千円増加し、5,566千円となりました。また、負債の部は、当期に発生した未払報酬等の計上に伴い、未払金112千円が計上されました。

その結果、正味財産の部は、指定正味財産20,000千円に、一般正味財産5,482千円と合わせて、25,482千円となりました。

(2) 当財団の2020年4月1日から2021年3月31日までの正味財産増減計算書は、以下の通りとなりました。

経常収益は、有限会社ティーエム興産からの寄付金19,000千円等により、19,000千円となりました。また、経常費用は、事業費として、給付奨学金14,700千円、事務局員の給与手当420千円等により、15,195千円となり、管理費として、事務局員の給与420千円、賃借料178千円、通信費167千円、顧問料110千円等により、1,114千円となり、経常費用合計は、16,310千円となりました。

その結果、当期経常増減額は、2,689千円となりました。

2. 事業報告

当期においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、理事会、評議員会等の対面会議、奨学生募集告知の大学訪問、奨学生応募者への対面による面接、当財団関係者と奨学生間の親睦・意見交換等を目的とした交流会の開催等、当財団の活動が制約される環境となりました。

しかしながら、当財団では、理事会等の会議は書面会議による開催、奨学生の募集は大学の奨学金担当者への電話やパンフレット・募集要項の郵送、奨学生の選考はオンラインによる面接の導入等、当財団関係者、奨学金応募者の健康と安全を第一に考え、臨機応変に対策を講じ、活動を継続してまいりました。

当財団の主たる事業である奨学金助成事業においては、前期末より第2期生の募集告知活動を開始し、多くの大学関係者、大学生の皆さまからお問い合わせをいただき、第2期奨学生の応募者数は、第1期奨学生の応募数23名を上回る69名となりました。書類選考及び面接選考の結果を踏まえ、当財団の選考委員会における審議の結果、第2期奨学生10名が決定され、2020年7月より給付奨学金の支給が開始されました。これにより、当財団の奨学生は、第1期生を合わせ合計20名となりました。

なお、2021年3月より、第3期生の募集告知活動を開始いたしました。第3期生の募集では、より一層、広く多様な人材を募集すべく、全国各地の大学へ告知活動を行っております。第3期生は募集人数10名を予定しており、選考委員会等の審議を経て、2021年7月に決定する予定となります。